

2022年7月27日

関係各位

法政大学国際文化学部長  
松本 悟  
(公印省略)

専任教員の公募について（依頼）

このたび法政大学国際文化学部では、下記の要領で専任教員を募集することになりました。つきましては、関係者ならびに関係諸機関等にご周知くださいますようお願い申し上げます。

記

1. 職 名 専任講師、准教授（常勤、任期なし）
2. 募集人員 1名
3. 所 属 法政大学国際文化学部
4. 担当科目 フランスへの留学準備を視野にいたした初修外国語としてのフランス語科目（フランス語5、6、8）、中級以上のフランス語科目（フランス語アプリケーション、フランス語コミュニケーション中・上級）、フランス語圏の文化、教養ゼミ。なお、法政大学大学院国際文化研究科の科目も担当する可能性がある。
5. 研究分野 フランスをはじめとした欧米社会、または日本や他の非西欧諸国・地域を含めた社会文化的事象を考察の対象として、フランス語圏で行なわれている人文・社会科学（Sciences humaines et sociales）の各分野の研究
6. 応募資格 次の（1）～（7）の条件を全て満たす方
  - (1) フランスの学位制度における Bac+5 以上に相当する学位（Master, DEA 等が Bac+5。Bac+8 にあたる Doctorat が今回の応募資格としては最も望ましい）を有している、または、これらの学位保持者と同等の学位を有することが、日本を含むフランス以外の国の高等教育機関が発行した学位記等の書類により確認できる方
  - (2) 言語運用能力において、フランス語を第1言語とする（すなわち幼少期に習得し、初等・中等の教育課程や、大学等の機関における研究を通じて、主にフランス語を用いてきた）方であり、かつ、日本語に関し、会話の能力に加え、教育研究や大学の運営面に参加するのに十分な読み書き能力をもつことが、履歴書や業績等から確認できる方。英語についても、当該の専門分野における研究者にふさわしい程度の運用能力を有することが望ましい。日本語を上記の意味で第1言語とし、フランス語を外国語として習得された方は今回の公募の対象外です。
  - (3) 「法政大学の歴史とミッション」等の文書に記述されているような、本学が掲げる目的や方針を理解した上で、熱意をもって学生への教育に従事できる方
  - (4) 市ヶ谷キャンパス全体のフランス語カリキュラム編成等の業務に積極的に携わっていただける方
  - (5) 国際文化学部の運営に関し、事務職員や同僚教員と協働できる方。特にフランス語圏におけるスタディ・アブロード・プログラムの運営や、その改善に関し主導的な役割を担える方

- (6) 日本国内の大学・大学院に留学した経験、または主な拠点が日本国内に位置している企業や団体で活動した経験のある方、または高等教育機関で教歴のある方
- (7) 今回の公募で専任教員として採用された場合、着任時期以降、東京近郊に継続的に居住できる方

7. 着任時期 2023年4月1日

8. 待遇等 本学の規程による。社会保険（健康保険、厚生年金保険、介護保険および雇用保険）については、法の定めるところにより加入する。

9. 応募書類 次の(1)～(4)の書類を全てご提出ください。

(1) 履歴書と教育研究業績書（指定された Word ファイルと Excel ファイルを用いる）

国際文化学部の指定する履歴書の書式（Word ファイル）と、教育研究業績書の書式（Excel ファイル）を、法政大学公式サイト上の採用情報ページからダウンロードした上で、すべての項目に記入してください。履歴書には必ず写真を貼付してください。

URL [https://www.hosei.ac.jp/saiyo/kokusaibunka\\_bosyu/](https://www.hosei.ac.jp/saiyo/kokusaibunka_bosyu/)

(2) 研究上の関心（日本語、1200字程度）

人文・社会科学のどの分野において、いかなる対象を、どのような方法論で分析してきたかを明示しつつ、これまでの研究内容に関し、日本語で説明する文書を作成、提出してください。

(3) 語学教育への抱負（日本語、1200字程度）

「東アジア出身の学生が、なぜ今フランス語を学ぶべきか」という問いに対する答えの形で、世界のこの地域におけるフランス語の将来に関するお考えや、着任後の教育に関する抱負を日本語で述べる文書を、作成、提出してください。

(4) 主要研究業績3点（日本語からフランス語への翻訳書をこの3点に含めることができる）

- ① 単行本や博士論文は、タイトルページ、目次、序章、結論および主要な1章のコピーを提出すること。各業績について、日本語による要約をA4用紙1枚以内で添付してください。
- ② 学術雑誌に掲載された論文に関しても、論文またはそのコピーと、日本語による要約をA4用紙1枚以内で添付してください。
- ③ 翻訳書を主要研究業績として提出する場合、日本語原文のコピーも添付してください。単行本として刊行された翻訳を主要研究業績の1つとする場合、内容の上で重要な1つの章の翻訳（フランス語）と、対応する日本語原文のコピーを必ず提出すること。

10. 提出方法および提出先

(1) 提出方法

- 応募書類は、(2)提出先に記載されている Google フォームから PDF ファイルでご提出ください。ただし、応募者が希望する場合、応募書類(4)「主要研究業績3点」に限り、紙媒体で提出することができます。「履歴書」「教育研究業績書」「研究上の関心」「語学教育への抱負」は、紙媒体ではなく、PDF ファイルで Google フォームからご提出ください。
- Google フォームから PDF ファイルをアップロードし、送信するには、Google アカウントを取得し、ログインする必要があります。Google アカウントの取得については、Google アカウントヘルプ「Google アカウントの作成」を参照してください。

URL <https://support.google.com/accounts/answer/27441?hl=fr>

## (2) 提出先

- Google フォーム：「【法政大学国際文化学部】2023 専任教員公募 資料提出用フォーム」  
URL <https://forms.gle/u7SmqaEZR4GVEFXRA>  
※上記フォームは、Internet Explorer 以外のブラウザで開いてください。

- <応募書類(4)の郵送提出>主要研究業績3点を紙媒体で提出することを希望される場合、追跡可能かつ到着日時が前もって特定できる、配送について信頼性の高い宅配サービスを利用し、下記の住所まで送付してください。

〒102-8160  
東京都千代田区富士見 2-17-1  
法政大学ポアソナード・タワー20F  
国際文化学部資料室気付  
国際文化学部専任教員公募係  
tel:03-3264-9360

## (3)PDF ファイルの作成方法、および提出時の留意点

- 応募書類(1)「履歴書」と「教育研究業績書」、応募書類(2)「研究上の関心」、応募書類(3)「語学教育への抱負」を、(1)(2)(3)の順に従いつつ、1つのPDFファイルにまとめてください。複数のPDFファイルを1つにまとめる無料のサービスがWeb上にあります。

なお、「履歴書」と「教育研究業績書」、「研究上の関心」、「語学教育への抱負」を含むこのファイルの名称は、「A\_氏名」としてしてください。例えば、あなたの名前が Gustave BOISSONADE ならば、ファイル名は「A\_BOISSONADE\_Gustave.pdf」とするようお願いいたします。

- 応募書類(4)「主要研究業績3点」を含むファイルを、「A\_氏名」のファイルとは別個に作成、提出してください。

なお、「主要研究業績3点」を含むファイルの名称は、「B\_氏名」としてしてください。例えば、あなたの名前が Gustave BOISSONADE ならば、ファイル名は「B\_BOISSONADE\_Gustave.pdf」とするようお願いいたします。

- Google フォームの添付ファイルのサイズ上限は、1ファイルあたり10GBですが、複数のファイルを添付することができます。あなたの作成したファイルのサイズが10GBを超える場合、10GB未達の複数のPDFファイルに分けたうえで、下記の例のように、それぞれのファイルに付番してください。

例：主要研究業績3点を含むファイル「B\_BOISSONADE\_Gustave.pdf」を複数のファイルに分ける場合、「B-1\_BOISSONADE\_Gustave.pdf」「B-2\_BOISSONADE\_Gustave.pdf」のようなファイル名をそれぞれのファイルに付ける。

- 主要研究業績3点のコピーや内容の要約、日本語やフランス語の原文のコピーは、上記9. 応募書類(4)①～③の指示に従い、PDFファイルでご提出ください。
- 添付ファイルのアップロードが全て終了したら、送信ボタンを必ず押してください。
- これら全てのPDFファイルについて、提出期限を厳守してください。お手数をおかけしますが、ご理解の程宜しくお願い申し上げます。

11. 応募締切 2022年9月8日(木) 23:59  
(ただし、応募書類(4)を紙媒体で提出する場合、同日17時必着)
12. 選考方法 書類選考による1次選考と、面接による2次選考
- 面接に必要な交通費を含む選考にかかる費用を、法政大学は負担することができません。
  - 面接については、新型コロナウイルスの感染拡大や、応募者が遠隔地に住んでいるなど、状況によってはオンラインで実施する可能性があります。
  - 1次選考通過者に対しては2022年10月末日までに連絡いたします。
13. 問合せ先 法政大学国際文化学部公募担当 (23saiyo@ml.hosei.ac.jp) まで、件名に「(あなたのお名前) 専任教員公募についての問い合わせ」と記した上、メールにて問い合わせください。電話でのお問い合わせは受け付けません。
14. 備考
- (1) 応募時に提出された個人データは、選考の目的に限定して利用いたします。提出していただいたファイルは選考終了後に削除いたします。応募書類のデータ利用にかかる著作権法上の権利処理(共著者・出版社への許諾処理等)は、応募者の責任のもとに行ってください。なお、応募書類を紙媒体で提出された場合も、本学において電子データ化し、選考の目的に限定して利用する場合があります。ご応募いただいた時点で、許諾があったものとみなしますので予めご了承ください。
- (2) 紙媒体で博士論文や単行本を提出された方で、返送を希望する場合、必要な金額の切手を添付した返送用の封筒を、宛先を記入したうえで同封してください。
- (3) 採用の最終候補者に内定した方につきましては、学位を修得した事実を証明する公的な書類と共に、履歴書と教育研究業績書も再度ご提出いただきます。お手数をおかけしますが、予めご了承ください。

以上